

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月15日			記入者	内線 2645
部 名	市民部	課 名	国民健康保険課	課長名	橋本修一
事務事業名	人間ドック助成事業				
予算上の事務事業名	人間ドック助成事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11520	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第5節 社会保険制度の充実に向けて				事業開始年度
施 策 名	第2施策 国民健康保険制度の充実に向けて				平成8年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
国民健康保険法第82条					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	関連計画として、さがみはら都市経営ビジョン		国民健康保険財政の健全化を図るため、効率的、効果的な保健事業を実施する。		
計画年次	17	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
疾病の予防及び早期発見の推進や医療費の抑制を目的として、人間ドックの費用の一部を助成する。			40歳以上の国保加入者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
加入者が指定検診機関で人間ドックを受検する場合に25,000円の助成をする。 定員 3,000人 受検者 2,974人					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施している。 本市における類似事業として、30歳代を対象とした健康診査がある。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	93,910	101,069	128,718	193,762	243,064
一般財源	54,561	58,706	75,037	99,037	121,816
受益者負担金	39,349	42,363	53,681	94,725	121,248
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,195	4,005	4,035	4,035	4,035
事業コスト合計(a)	98,105	105,074	132,753	197,797	247,099
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	人間ドック助成事業			対象名称(単位)	受検者数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	98,105	105,074	132,753	197,797	247,099
対象数	2,180	2,347	2,974	4,500	5,760
単位あたり経費(円)	45,002	44,769	44,638	43,955	42,899
前年度比		0.99	1.00	0.98	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	承認率	指標式と指標の説明		承認者数 / 応募者数 × 100 執行状況を管理し、応募者に対する承認者数の向上を図る。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	92.3	90.4	91.2		
目標	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度	0.92	0.90	0.91		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	受検率	指標式と指標の説明		受検者 / 定員 × 100 受検者数の向上を目指し、予算の執行率を高める。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	99.0	97.8	99.1		
目標	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度	99.0	97.8	99.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		保健事業の一環として人間ドックに係る費用を助成し、被保険者の疾病の予防・早期発見、早期治療に結びつき、健康の増進が図られる。さらに、このことによって医療費の抑制に貢献するものである。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成16年度は受検者が全員受検できるよう定員数の大幅な増加を図ったが、それを上回る応募があり、抽選の結果受検できない人が出てしまった。このため、平成17年度は、受検者の枠を増やすとともに全員受検できるよう助成額を引き下げることとした。			被保険者の増加及び健康に対する意識の向上により受検希望者が増え続ける傾向にあり、予算を増額し定員増を図っているものの、年々受検できない者が増加している現状である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			